

エイジングに  
応える美容 1  
医療用ウィッグ

# 美容を活かしたサポート「医療用ウィッグ」

東京都・港区で美容室『エスティンターナショナル』を経営している村橋哲矢さんと紀有子さん夫婦。総合ビューティサロンを営んで3代にわたる。その村橋夫妻が始めた取り組みが「アピアランス・サポート」だ。お二人にアピアランス・サポートを始めたきっかけなどのお話を伺った。



エスティンターナショナル  
代表取締役  
むらはし てつや  
村橋 哲矢さん



エスティンターナショナル  
取締役  
むらはし ようこ  
村橋 紀有子さん

## アピアランス・サポートとは

抗がん剤や放射線治療などの化学療法の副作用によって、髪・眉・まつげの脱毛や、皮膚のくすみ、爪の変色や変形など、外見(アピアランス)の変化を体験する患者さんは多い。一時的にでも外見が変わることで自信をなくしたり、心理的に苦痛を抱えてしまうこともある。アピアランス・サポートは、抗がん剤や放射線治療から起きる外見変化の悩みをもつ患者さんに有益な情報を提供し、どのように対処していくかなどのケア方法をアドバイスする。治療中だけでなく治療後の社会生活の質をよりよくするため、患者さんの心に寄り添ったお手伝いをするものとなる。

## 美容の専門家としてできる「お手伝い」とは?

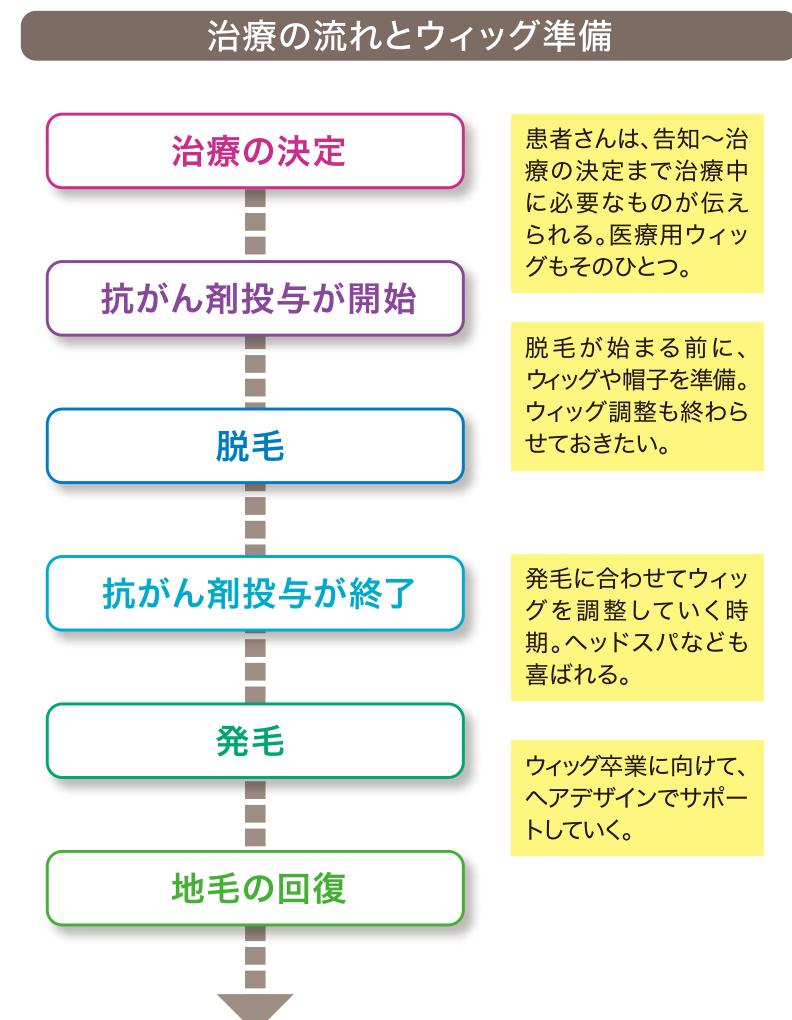
「4年ほど前に行行政ががん患者さん向けの施策を計画しているのを知り、美容業界から何かお手伝いできることがあるかもしれない、という気持ちになったことがアピアランス・サポートを始めるきっかけでした。医療現場では医療用ウィッグの案内はしているけど、患者さんは具体的な相談を医師や看護師にはできない。そこを美容の専門家として、患者さんがリラックスできる環境で外見の変化に関する相談にのれることに行政もよい評価をしてくれたのです」。

相談窓口をサロン内と病院に立ち上げ、医療用ウィッグ購入に関する助成金制度をつくることができ、患者さんの経済的負担と心理的負担の両方を軽減することができた。それから相談者の数もぐんと増えた。1年半ほど前に一般社団法人を立ち上げると、電話相談を含めて週に平均10件の相談があるという。

「いくつかの病院でお話を伺い現状を見ると、高価なウィッグに目がとまりやすい状態でした。患者さんの経済的負担が大きくなる時期に、しかも告知直後の精神的に不安定になっているときに購入の判断をさせるような状況を何とかしたかった。今、行政から求められているのは客観的な情報提供ができるかどうかなので、当サロンではウィッグの価格帯も幅広く用意し、複数社の製品から選んでいただこうようにしています。髪だけでなく、ネイルの変色や、胸部補正下着など、外見全体の悩み相談に対応しています」。

## まずはウィッグの提案からスタート

「今後ますます高齢化が進むに伴って、美容業界ができる仕事の範囲も広がっていくと考えます。それをサポートするために団体をつくりつつあるので応援して行きたいです。一例としてアピアランス・サポートを美容師としてまずできることを挙げるなら、医療用ウィッグの提案だと思います。治療が始まる前にウィッグ計画を立て、その方に合うよう調整する。患者さんの治療が進んで自毛が生えて



ウィッグを卒業するようになったら、自毛のお手入れのアドバイスなどに発展すればいいですね」。

今後は、美容サロンと並行して専門的な知識をもってアピアランス・サポートができる人材を大学病院と連携して育成していくたいとのこと。いつも行っている馴染みのサロンでデリケートな相談ができたら、患者さんにとって、それがいちばんよい環境になるはずだ。

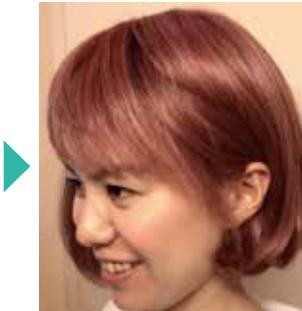


坂本龍馬風にウィッグをアレンジ。



銀髪のリクエストも似合せカットをした。

カットで  
おくれ毛を  
つくる



ネイルで  
サポート

## 患者さんからの楽しい要望に応えられるのも美容師だからこそ

医療用ウィッグ選びのお手伝いをするようになってからの相談でいちばん多いのは、買った後のウィッグについてのものだと村橋紀有子さんは言う。「あわててネット通販で購入したけれど上手く使えない」など、ウィッグ選び以上の相談件数がある。

「サロンで扱っているウィッグは、幅広い価格帯で多くの種類で対応できるようにしています。もちろん利用者さんがお持ちのウィッグの調整もしています。患者さんからの『自分に似合っていない』などのご相談に、技術でウィッグに命を吹き込むのは、美容師だからこそできるサポートです」。

紀有子さんが実践しているのは、すべての医療用ウィッグを自身も試してみること。メーカーによってサイズや深さなど、つけ心地が違うウィッグを実際に体験してみると、細かなことに気づき、より患者さんの気持ちに沿うことができる。

「手ごろなウィッグでも患者さんに合ったカットができるれば、その方だけのものができる。例えば、耳に毛をかけたときに後れ毛でもみあげができるようなカットをしたり。実は患者さんのなかにはウィッグを楽しむ人も少なからずいます。男性の方で『坂本龍馬みたいな髪にしたい』というリクエストをいただき、女性用のロングのウィッグをカットして、結わえてみたりしたこともありました。『金髪にしたい』とか『メッ

シュは入れられる?』とか。そんな楽しい要望も美容師だから応えられる。培ってきた技術を出せるところですよね」。

アピアランス・サポートで村橋紀有子さんが気をつけていることは、医療についてのコメントはしないこと。相手に同情し過ぎず、美容師の立場からのアドバイスを心がけているという。トータルで美容を提供してきたサロンだからこそ、アピアランス・サポートでの役割は大きいといえるだろう。



美容室 エスティンターナショナル  
www.salon-esthe.com

上質なサービスとプライベートな空間で「心からお寛ぎいただける総合美容サロン」がコンセプトの「エスティンターナショナル」。大正時代から培われてきた技術と、新しい美容が提供される。



美容師向けの講習会も開催した



東京慈恵医科大学で行った「港区地域包括ケア研修会」で登壇した村橋哲矢さん。

## 活動内容

1. 病院や美容室などへのアピアランス・サポート相談室の開設と運営
2. アピアランス・サポートに関する研究と情報提供事業
3. アピアランス・サポートを行うアドバイザーの育成事業
4. 会員間の相互扶助、支援、親睦のための事業
5. 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

## 「一般社団法人アピアランス・サポート東京」について

[www.app-sup.com](http://www.app-sup.com)

村橋哲矢さんが会長を務める「一般社団法人アピアランス・サポート東京」。美容のプロフェッショナルとして、医療者と連携して、外見変化による悩みをもつ患者さんに寄り添う。患者さんに有益な情報を提供し、どのように対処していくかをともに考え、病中、病後の社会生活の質をより良くするためのサポートを行っている。がん患者・脱毛症等、科学的治療や疾病等をともなう脱毛やその他外見変化に悩む人々の苦痛を軽減するための支援で社会貢献を図ることを目的とし、研修会、講習会などを開催している。